

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	職員一人ひとりがその方のプライバシーを損ねる言葉掛けをしていないか常に意識しながら対応するようにしている。しかしながら根本的な考えや解釈が職員間に浸透しているかが疑問である。	『プライバシーの尊重と礼儀』『個人情報の保護』を意識した対応、行動が常にできるよう職員間で周知徹底を図る。	『プライバシーの尊重と礼儀』『個人情報の保護』について理解を深める為、勉強会を実施する。	1か月
2	6	身体拘束はしない方針であり、対応困難な場合であっても、どのようにしたら拘束せずに済むかということを全職員で話し合いを持つようにしている。更に行動抑制のみならず、言語面でも抑制に繋がらないよう配慮している。『身体拘束防止マニュアル』は整備されているが、現状にあった物かの確認、見直しが出来ていない。	『身体拘束防止マニュアル』が現状とマッチングしているか見直しを行う。	『身体拘束防止マニュアル』を職員間で読み合わせをし、現状に適應した内容であるかの確認⇒内容の改正を行う。	3か月
3	7	『虐待防止マニュアル』が整備されており、発見時の早期対応ができる流れとなっている。又、それに基づいた勉強会を実施し、知識を深めると共に再認識する機会を設けている。マニュアルの整備はされているが、現状にあった物かの確認、見直しが出来ていない。	虐待防止に関する勉強会を11月25日に実施している。更に『虐待防止のマニュアル』が現状とマッチングしているか見直しを行う。	『虐待防止のマニュアル』を職員間で読み合わせをし、現状に適應した内容であるかの確認⇒内容の改正を行う。	3か月
4	34	火災想定(夜間、日中)の避難訓練や地震想定(年1回)等、毎月、防災訓練を実施し、迅速に確実に避難誘導ができるように努めている。『非常災害時の対応マニュアル』を作成し、全職員が周知できるように配布しているが、現状にあった物かの確認、見直しが出来ていない。	毎月、防災訓練を実施して、迅速に確実に避難誘導ができるように努めているが、『非常災害時の対応マニュアル』が現状とマッチングしているか見直しを行う。	『非常災害時の対応マニュアル』を職員間で読み合わせをし、咄嗟の場合に的確に対応できる内容であるかの確認⇒内容の改正を行う。	3か月
5	35				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。